

平成 15 年 6 月 11 日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 1 号機 残留熱除去系ポンプ室における
弁のグランドパッキン部からの水の滴下について

1. 事象の概要

志賀原子力発電所 1 号機は第 8 回定期検査中のところ、原子炉ウエルの水抜き作業に備えてサプレッションプール内の水位を下げるため、平成 15 年 6 月 9 日 10 時 3 分から 12 時 10 分まで、残留熱除去系ポンプ (C) により、サプレッションプール水の液体廃棄物処理系への移送を実施しました。

同日 12 時 10 分、原子炉建屋地下 2 階の残留熱除去系 (C) ポンプ室内にある、移送ラインのブロー弁のグランドパッキン部より水が滴下しているのを発見しました。滴下した水の量は約 0.14 リットル、床にこぼれた範囲は約 40 c m × 約 70 c m でした。

13 時 25 分に当該弁のグランドパッキンの増し締め等を行い、グランドパッキン部からの滴下は停止しました。

なお、滴下した水の放射能は測定の結果、約 110 ベクレルであり、通達に基づく国への報告基準の 3.7×10^6 ベクレルの約 3 万分の 1 でした。外部への放射能の影響はありません。

2. 原因・対策

(1) 原因

グランドパッキンの経年的な劣化と推定されます。

(2) 対策

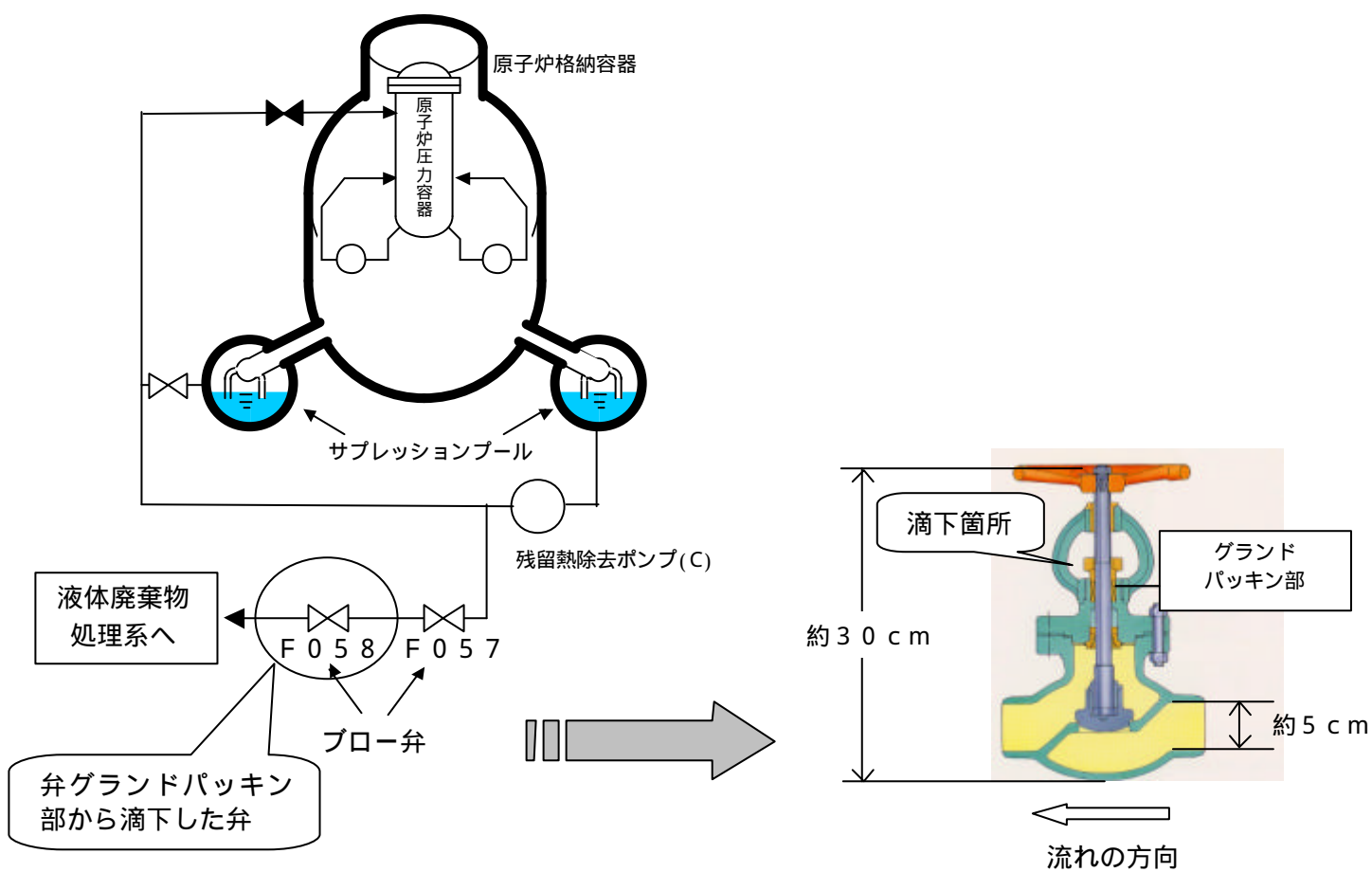
グランドパッキンを新品と交換します。

3. 連絡・公表

今回の事象は、法令、通達、安全協定に基づく連絡対象ではありませんが、国（発電所に駐在する原子力保安検査官）に、日常の運転管理情報としてお知らせしました。

また、情報公開を積極的に推進し、原子力発電に関する透明性をより一層確保する観点から、自主的に、県、町に連絡し公表しました。

残留熱除去系 系統概略図



当該部写真

